

# 平成 2 1 年度 事業報告書

## 事業の状況

### 1 アジア・アフリカ図書館事業

#### (1) 閲覧・貸出し業務

アジア・アフリカ語学院関係者を中心に閲覧業務を行った。

#### (2) 蔵書の整理、登録ならびに新規購入

新規購入としてアジア・アフリカ諸国の辞書及び食文化に関する書籍等を購入した。  
また、大学の紀要などの寄贈も受付けた。

#### (3) 講演会の実施

「アジア・アフリカを知る集い」(第 12 回～第 15 回)を開催した。

第 12 回 『アジア・アフリカで：初めての言葉に挑戦する』(講演者：西江雅之)

平成 21 年 6 月 20 日 参加者数：39

第 13 回 『神話世界の理想郷を展望して』(講演者：百田弥生子)

平成 21 年 9 月 12 日 参加者数：7

(社)中日文化研究所との共催

第 14 回 『オリーブから見えるパレスチナの暮らしと文化』(講演者：田浪亜央江)

平成 21 年 10 月 24 日 参加者数：10

第 15 回 『ニューギニアの言語と文化』(講演者：西江雅之)

平成 22 年 1 月 23 日 参加者数：37

#### (4) 三鷹ネットワーク大学における企画講座

アジア・アフリカ地域の言語を紹介する連続講座を企画・実施した。(各回とも土曜日、13:30-16:00)。紹介言語、講師、実施時期、受講人数は以下の通り。

第 1 回 ヒンディー語(講師：雪下洋一) 平成 21 年 10 月 24 日 8 名

第 2 回 タイ語(講師：吉川敬子) 平成 21 年 11 月 14 日 12 名

第 3 回 ベトナム語(講師：坂村哲雄) 平成 21 年 11 月 28 日 8 名

第 4 回 アラビア語(講師：石黒忠昭) 平成 21 年 12 月 5 日 11 名

第 5 回 スワヒリ語・講座総論(講師：西江雅之) 平成 21 年 12 月 12 日 14 名

#### (5) その他

郭沫若記念館(在北京)の趙副館長他 2 名が来訪、当館の「沫若文庫」を見学。(平成 21 年 10 月 29 日)後日、『郭沫若与百年中国学术文化回望』等関連書籍の寄贈を受けた。

### 2 アジア・アフリカ語学院事業

#### (1) 専門課程

実施学科および入学・卒業生徒数

##### a) アジア系語学科

アラビア語学科 1 年課程を実施した。卒業生うち 1 名は 22 年度のアラビア語学科 2 年課程へ編入学した。

学 科 名	在籍学生数			卒業生数
	1 年	2 年	計	
アラビア語学科(1 年)	2		2	2
計	2	0	2	2

なお、中国語学科(1 年課程)、アラビア語学科(2 年課程)、インド語学科(1、2 年課程)の在籍者はいなかった。

b) 日本語教育

日本語学科では20年10月入学「進学1.5年コース(41期)」、21年4月入学「進学1年コース(42期)」、21年10月入学「進学1.5年コース(43期)」を実施した。進学実績は、大学院11名、大学・短大20名、専門学校32名。

学 科	在籍学生数				卒業生数
	41期	42期	43期	計	
日本語学科 進学1年コース		43		43	115
日本語学科 進学1.5年コース	21		53	74	

日本語学科の在籍学生数は入学者数

なお、21年度より学生の多様なニーズに合わせ、選択制のカリキュラムを導入。今年度は必修選択科目14科目、自由選択科目28科目を実施。

その他

平成21年7月に研修旅行を実施。長野県川上村に宿泊し、長野、山梨方面を見学した。参加人数28名。(7月27日、28日)

(2) 生涯教育・委託研修

生涯教育

一般社会人向けの生涯教育部門では、土曜コース(別科速成科昼間クラス)の他、少人数のニーズに応える特別講座や短期講座を実施した。また、三鷹ネットワーク大学において、アジア・アフリカ文化財団の企画講座を実施した。

a) 別 科

(初級)

言 語	在籍学生数				修了生数 (初級修了)
	入門	初級1	初級2	初級3	
速成科アラビア語	10	6	5	5	5
速成科ヒンディー語			3	3	3
速成科タイ語	3	3			
計	13	9	8	8	8

(中級)

言 語	在籍学生数			
	中級1	中級2	中級3	中級4
速成科アラビア語	7	4	8	8
速成科ヒンディー語	4	3		
計	11	7	8	8

(上級)

言 語	在籍学生数					
	上級1	上級2	上級3	上級4	上級5	上級6
速成科アラビア語	6					
速成科ヒンディー語	4	4	3	4	3	3
速成科ヒンディー語	4	5	4	4		
速成科タイ語			4	4	3	4
計	14	9	11	12	6	7
言 語	在籍学生数					
	上級7	上級8				
速成科ヒンディー語	3	3				
計	3	3				

b) 特別講座

講 座	受講生数
アラビア語講読講座(講座1~4)	延29
プライベートレッスン(アラビア語他)	4

c) 短期講座

講座名(場所)	開講時期	開講言語数	受講生数
体験講座(錦糸町)	2009年4月	3	13

d) 三鷹ネットワーク大学における企画講座

19年度から実施している文化人類学講座「異文化の眺め方」を継続して実施した。

(週1回火曜日、19:00-20:30)

「異文化の眺め方8」(講師:渡辺隆宏) 平成21年4月~6月 14名

委託研修

官公庁からの委託研修生を対象としたクラスを中心に、アジア・アフリカ語の委託研修を例年通り行った。

警察大学校国際警察センター 4件

日機装株式会社 1件 以上5件を実施。

日機装株式会社の研修は外国人研修生を対象にした日本語の指導

また、宮城県人事委員会より同県職員採用試験(中国語)の作成業務等を受託し、第1次筆記試験の作成・採点と第2次面接試験での試験官を派遣した。

(3) 対外活動

三鷹国際交流フェスティバル

三鷹国際交流協会が主催する「三鷹国際交流フェスティバル」に参加。テントショップにアジア・アフリカ語学院のブースを出展した。また、ミニアトラクションスペースにおいてアラビア語体験講座(講師:金子順子)を実施した。(21年10月)

上級学校訪問(見学)の受入れ

近隣の公立中学校が行う「上級学校訪問」の受入れを行った。

来校した中学校: 立川市立第一中学校(21年10月)

三鷹市中原小学校との交流活動

三鷹市中原小学校4年生の「総合的な学習の時間」の国際交流を体験する授業に日本語学科留学生が招かれた。互いの国の紹介やゲーム、日本の伝統文化の体験を通して交流を深めた(21年9月、22年2月)

青梅市国際理解講座への講師派遣

青梅市が実施する同市内在住の児童・生徒を対象にした国際理解講座に講師の派遣を行った。

講座: 中国の文化に触れる(講師:呉宝珠) 平成21年11月18日

3 交流支援事業

(1) 外国人研修生教育

10月より初めての研修生をベトナムから1名受け入れた。研修生の受入れ企業は三鷹市内の印刷出版会社(株式会社文伸)。研修の職種は製本。

なお入管法改正による研修・技能実習の新制度施行(22年7月)に伴い有料職業紹介事業の許可申請を行った。(22年3月申請、同年6月許可予定)これに関連し、中国の送り出し機関である青島環太経済合作有限公司と研修事業に関する協約締結を行った。(平成22年3月)

(2) 外国人子弟教育

三鷹市内在住の外国人子弟4名(学齢:中学校1、2年生各2名。うち3名は昨年度も受講)に対して、夏休み期間を利用した「外国人児童生徒日本語教育支援プログラム」を実施した。(平成21年8月)

生徒は市内の中学校に在籍。それぞれのニーズ(日本語のブラッシュアップ、教科の

補習等)に合わせて教育を実施。広報面では昨年度に引き続き三鷹市教育委員会の協力を得た。また、クラス運営の面では、アジア・アフリカ語学院日本語学科の講師のほか、子弟教育に従事した経験を持つ外部講師2名を迎えて指導を行った。

### (3) 外国人学生宿舍運営

アジア・アフリカ語学院に在籍する留学生の宿舍として当財団所有施設「有朋館(ゆうほうかん)」を継続運営。2年目の延べ入居者数は44名。

このほか21年10月に開館した(社)中日文化研究所の研修センター「青雲公寓(せいいうんこうぐう)や、近隣のUR都市機構の賃貸住宅(新川・島屋敷通り)、近隣の民間アパートを借り上げ、学生寮として利用した。これらの今年度の実績は、契約部屋数23部屋、延入室者数50名。

### (4) 交流促進活動

#### 黄冈師範学院日本研修

20年度に引き続き、中国湖北省黄冈師範学院の依頼を受け、中国政府の高等教育機関における人材育成事業の目的に沿って、11月12日から8日間、副学長以下14名の幹部教職員に対し「大学の運営と管理に関する日本研修」を実施した。中央大学・東京工科大学・筑波大学など教育機関の訪問及び日本の風土と文化理解のための京都・箱根の見学を行った。

#### 武漢外国語学校日本修学旅行

中国湖北省の武漢外国語学校で日本語を学ぶ高校生ら15名の日本修学旅行時の日本語研修プログラムを立案、研修への教員派遣などを行った。(22年2月18日~同21日)

注)武漢外国語学校は、周恩来、陳毅など中国第一世代指導者などの発案により、1964年、中国最初の七つの外国語学校の一つとして設立。小学校部、中学校部、高校部、国際部と研修部があり、在校生4500人余、教職員300人余で、外国語と文系、理系、国際間合作を建学の方針としている。1982年に湖北省の重点中学校の一つになり、2000年には省のモデル校となっている。

## 4 翻訳事業

官公庁、企業からの依頼を受けて、年間270件の翻訳案件を処理した。また、警察庁からウェブサイトのモニタリング及び外国語翻訳業務を請け負った。(12月~22年3月)

なお、翻訳者登録数は、年度末現在125名。

## 5 その他

### (1) 会員の状況

年度末現在2社。

### (2) 公益法人制度改革への対応

公益法人制度改革3法が施行(平成20年12月)されたことを受け、平成22年度中の移行を目標に認定申請の準備を行った。

## 庶務の概要

### 1 役員に関する事項

役職名	氏名	就任年月日	備考
理事	菊地 弘	平成 21 年 6 月 30 日	アジア・アフリカ文化財団会長 理事長を兼務
理事	篠原 昭雄	同	アジア・アフリカ文化財団専務理事
理事	木村 実季	同	アジア・アフリカ文化財団常務理事
理事	西江 雅之	同	アジア・アフリカ図書館長
理事	堀中 浩	同	明治大学名誉教授
理事	小山 晃	同	オーケー フィッシャリーズ社長
理事	西崎 哲郎	同	KFi 株式会社社長
理事	中江 利忠	同	元朝日新聞社社長
理事	小倉 正雄	同	元(株)立川都市センター取締役
理事	黒柳 恒男	同	東京外国語大学名誉教授
監事	永井 和雄	同	元東洋建設株式会社常任監査役
監事	山本 忠雄	同	山本会計事務所所長

### 2 職員に関する事項

	平成 20 年度			平成 21 年度		
	男子	女子	計	男子	女子	計
事務職員(財団)		1名	1名		1名	1名
(図書館)		2名	2名			
(語学院)	3名	1名	4名	4名	1名	5名
専任教員(語学院)	1名	2名	3名		2名	2名
計	4名	6名	10名	4名	4名	8名

職員を兼務する常勤役員を除いている。